

第 1 回宮城県障害者ボッチャ大会
兼 第 2 1 回全国障害者スポーツ大会選手選考会
実 施 要 項

1 目 的

スポーツを通じて体力の維持・増進を図り、明朗快活かつ積極的な性格と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって障害者の社会参加促進に資することを目的とする。

2 主 催

宮城県／一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会

3 共 催 (予定)

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会

4 後 援 (予定)

宮城県教育委員会／公益財団法人宮城県スポーツ協会

5 競技主管

宮城県障害者スポーツ指導者協議会

6 開催期日・会場

地区	日時	会場
北部大会	2021年4月17日(土) 午前11時～午後5時	美里町トレーニングセンター 遠田郡美里町北浦字下新田 97-1
南部大会	2021年4月24日(土) 午前11時～午後5時	大河原町東部屋内運動場 柴田郡大河原町大谷字山下 4 4

※新型コロナウイルス感染状況により、延期又は中止とする場合もある。

【参加対象市町村】

- 北部大会 気仙沼・本吉地域(気仙沼市・南三陸町)・登米地域(登米市)・栗原地域(栗原市)
大崎地域(大崎市・加美町・色麻町・涌谷町・美里町)
石巻地域(石巻市・東松島市・女川町)
仙台地域(塩竈市・多賀城市・富谷市・利府町・松島町・七ヶ浜町・大郷町・大和町・大衡村)
- 南部大会 仙南地域(名取市・岩沼市・白石市・角田市・川崎町・村田町・大河原町・亘理町・山元町・丸森町・七ヶ宿町・蔵王町・柴田町)

7 出場資格

出場選手は、次の全ての条件を満たす者とする。

- (1) 2021年4月1日現在、12歳以上の者で、申込時において仙台市を除く宮城県内に現住所を有する者。または、仙台市を除く宮城県内の施設や学校等へ入所、通所、通学する者。
- (2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者、又はその取得の対象に準ずる障害のある者で、「別表_1 障害区分表」の障害区分に該当する肢体不自由者

8 競技規則

2021年度に適用される全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定)によるもののほか、本大会要項、競技要領、大会申し合わせ事項による。

9 競技方法

- (1) 競技は、競技スタイルごとのリーグ戦とし、試合は2エンドの個人戦とする。
- (2) プールは、男女の区別なく「立位」と「座位」の2区分とする。但し、申込み状況により変更する場合がある。
- (3) 試合は、2エンドの総得点で勝敗を決める。2エンド終了時、同点の場合は、タイブレイク（ファイナルショット制度）で勝敗を決める。
- (4) 試合球は、感染予防の為、主催者が用意したボールを使用する。

10 表彰

- (1) プールごと1位の者にメダルを授与する。
- (2) 表彰式は実施しない。メダルは後日送付する。

11 参加申し込み

出場申込票に必要事項を記入の上、2021年3月27日（土）までに、下記申込先まで、郵送、e-mail, FAXにて申し込むこと。

※出場申込書は協会ホームページ（<http://www.mpsa.jp/>）よりダウンロードできる。

＜申込先＞ 一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2

FAX : 022-257-1062 / e-mail : kensupo1988@poplar.ocn.ne.jp

12 全国大会派遣選手の選考

- (1) 今大会の記録は、下記全国大会への派遣候補選手選考の参考記録となり、別途開催される選考委員会において最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により2021年4月1日現在、満13歳以上の選手が対象となる。なお、選考は全国大会主催者が指定した出場選手数に基づき、地域、障害区分、性別、出場回数等を考慮して行われる。

＜第21回全国障害者スポーツ大会：2021年10月23日～25日於：三重県＞

- (2) 上記全国大会へは、宮城県から派遣される。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の拡大等の不測の事態により上位大会が中止となる場合がある。

13 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の収束に見通しが立たない中、可能な限りの対策を講じ実施するが、参加予定の選手についても、下記事項を熟読し了承した上で申し込むこと。

- (1) 来場する者全員（選手、コーチ、アシスタント、介添者）が体調チェックシートを提出すること。事前に自宅等で体温を測り、体調チェックシートに記入すること。
- (2) 受付前に検温所で検温及び体調チェックシートにより体調の確認を行う。担当者の指示に従うこと。
- (3) 体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- (4) 競技中以外はマスクを着用すること。なお、マスクは必ず持参すること。
- (5) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- (6) 競技中以外は、対人距離をしっかりと確保し、大きな声での応援は控えること。
- (7) 無観客にて実施する。応援者の入場はできない。
- (8) 介添者については、最小限の人数で実施すること。
- (9) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更や中止する可能性がある。

(10) 開会式および閉会式、表彰式は実施しない。競技が終了した選手から解散となる。

14 その他

(1) 参加に係る費用は参加者負担とする。

(2) 大会関係者（コーチ・アシスタント・選手等）は室内シューズを着用すること。但し、車いすはその限りではない。

(3) 開会式、閉会式及び表彰式は実施しない。競技が終了した選手から随時解散とする。

(4) 主催者が発行する広報媒体において、選手その他の参加者の映像、写真、競技記録及び名前等を掲載することがあるほか、テレビ・新聞等の報道機関関係者及び主催者が障害者スポーツの振興に資するものと認めて撮影等を許可した団体関係者が来場し、選手その他の参加者の映像、写真、競技記録及び名前等が広報媒体に掲載されることがある。参加者はこのことをあらかじめ了承のうえで参加するものとする。

(5) 出場選手の健康・安全管理については、事前に医師の診断を受けるなど、各自において十分配慮すること。主催者側においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については、一切責任を負わない。なお、競技中の負傷に対する保証は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。普段の練習の事も含めて考えて不足と思われる際は、各自において別途加入すること。

(6) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更や中止になる場合は、宮城県障害者スポーツ協会ホームページへ掲載するほか、参加申し込みをされた団体等へも連絡する。

【 注意事項：障害区分・競技アシスタントについて 】

●ボッチャ競技の障害区分は全て投球時の姿勢を基準とする。

(1) 車いす利用者・座位者

(ア) 四肢麻痺者・片麻痺者等、車いすまたは椅子座位で競技する選手

(イ) 投球はできるが、車いすの方向を変えたり、移動したりすることが機能的に困難な選手

(ウ) 投球することが困難で、ランプを使用して競技する選手。

※ (イ) 及び (ウ) の選手は、1 選手に 1 人競技アシスタントが認められる。

(2) 立位者

立位で競技する者。競技においては、日常的車いすを使用しているものでも、投球時に立っているかどうかで判断される。

●競技アシスタント

(1) 車いす使用者のうち、移動したり方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手 1 名につき 1 名のアシスタントを認める。

(2) 競技アシスタントは移動すること、方向を変えること、投球することに対して補助するものであって、選手の意思を離れて競技に介入することは許されない。

【 別表_1 宮城県障害者ボッチャ大会 障害区分表 】

◎：男女区別・年齢区分なし

			区分 番号	障害区分・解説	競技スタイル	
					立位	座位
肢体不自由	I	切断・ 機能障害	1	多肢切断・両下肢完全で立位 【解説】 上肢・下肢の4肢のうち、3肢を切断し、義足等を使用して立位で競技する者。もしくは、脳原性麻痺以外で下肢の3大関節（股・膝・足関節）全てに機能障害があり、長下肢装具を使用して立位で競技する者。	◎	
	II	脳原性麻痺 以外で 車いす常 用、使用	2	第6頸髄まで残存 【解説】 肩関節周辺の筋力は、ほぼ正常な四肢麻痺者（肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常）		◎
			3	第7頸髄まで残存 【解説】 肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者（肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈は正常だが、物が握れない）		◎
			4	第8頸髄まで残存 【解説】 肩関節首位と肘関節周囲と手関節周囲の筋力がほぼ正常で、指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者（把握能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない）		◎
			5	多肢切断 【解説】 上肢・下肢の4肢のうち、3肢を切断し、車いすやいすに座った姿勢で競技する者		◎
	III	脳原性麻痺 （脳性麻痺、 脳血管障害、 脳外傷等）	6	四肢麻痺で車椅子常用 【解説】 脳原性麻痺により四肢に著しい可動域制限や協調性運動障害があるもので、両上下肢駆動による車いす使用者		◎
			7	けって移動 【解説】 脳原性麻痺による両上肢障害が重度のため、両下肢または片下肢で車いすを駆動させるもの		◎
			8	片下肢で車いす常用、または使用 【解説】 脳原性麻痺による片側傷害で、動かすことができる側の上肢と下肢で車いすを操作する者		◎
			9	その他走不能 【解説】 脳原性麻痺による下肢障害で、杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることができない者	◎	
	IV		10	電動車いす常用 【解説】 脳原性麻痺や脳原性麻痺以外の四肢麻痺者で、日常的に電動車いす（JIST9203）を使用している者		◎

※座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルをいう

※座位で競技する選手（区分 2～8 および 10）の選手で、移動したり方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手 1 名につき 1 名の競技アシスタントを認める。

※立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

新型コロナウイルス感染症への対応について（ガイドライン）

＜選手のみなさんへ＞

1. マスクを持参すること（マスクには氏名を記入）

- ・スポーツを行っている時以外は、極力マスクを着用してください。

ただし、暑くて息苦しい時などは、熱中症の危険があるので外しても構いません。

2. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行ってください。

- ・特にトイレの後には、石鹸で手洗いを行ってください。
- ・トイレでは蓋を閉めてから流してください。
- ・トイレ等から控え場所に帰ってきたら、アルコール消毒をしてください。

3. 他の選手との距離（できれば2 m以上）を取るよう心がけてください。

- ・控え場所においては、隣同士あまり近づき過ぎないように注意してください。
- ・大きな声で会話をしたり、応援したりしないこと。

4. 次の項目に当てはまる事項が一つでもある場合には、大会への参加はできません。

- ① 平熱を超える発熱がある場合。（37.5度以上はいかなる場合でも不可）
- ② せき・のどの痛みなどの風邪の症状がある場合。
- ③ 強いだるさ、息苦しさがある場合。
- ④ 臭覚や味覚に違和感や異常がみられる場合。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある場合。
- ⑥ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- ⑦ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航または該当在住者との濃厚接触がある場合。

6. ゴミは各自持ち帰ること

- ・自分の出したごみは各自責任をもって持ち帰ってください。
- ・他者のゴミや落とし物等、自分のもの以外に極力触らないこと。

7. 忘れ物について

- ・今大会での忘れ物は、感染拡大防止の観点から、大会終了後1週間以内に廃棄処分されます。

8. その他重要事項

- ・多くの人が触れるもの等には、できるだけ触らないようにしてください。
- ・特に、床には直接手で触れないようにしてください。やむを得ず触れてしまった場合には、アルコール消毒等を行ってください。競技用具、タオル等の貸し借りは絶対に行わないでください。
- ・口や鼻、目などの粘膜には、やたらと触らないようにすることも感染予防には大変重要です。
- ・控え場所では、窓を開け常に換気を心がけてください。
- ・関係諸機関より、入館者・接触者の情報提供があった場合、それに応じることがあります。

たいかいさんかどういしょ
大会参加同意書

か き じょうこう じゅうぶん り かい なつとく う え みやぎけんしょうがいしゃ たいかい さん か どう い
下記条項を十分に理解し納得した上で、宮城県障害者スポーツ大会への参加に同意します。

※それぞれの項目を理解し同意されたら□に✓を記入してください。

- ☐ しんがた ころ な う い る す かんせんしょう かんせん きけんせい じゅうぶん り かい
「新型コロナウイルス感染症」感染への危険性を十分に理解している。
- ☐ へいねつ こ え る はつねつ せき のど いた みとう しょうじょう み かく きゅうかく いじょう い わ かん
平熱を超える発熱、咳や喉の痛み等の症状、また味覚や嗅覚の異常や違和感がわずかでもある
ば あ い しゅつじょう らいじょう
場合には出場（来場）しない。
- ☐ かいじょう たいざいじ かん ひつようさいしょうげん しゅつじょうきょうぎしゅうりょうご た だ ち き た く
会場での滞在時間は必要最小限にとどめ、出場競技終了後は直ちに帰宅する。
- ☐ こういしつ お よびせんしゅしょうしゅうじょ みつしゅう さ ける ひつよう じ い が い り ょう
更衣室及び選手招集所は、密集を避けるために必要時以外は利用しない。
- ☐ せんしゅひかえじょ みつしゅう さ け ひろくしょう たい き
選手控え所については、密集を避け広く使用し待機する。
- ☐ お お き な こ え か い わ おうえんとう
大きな声での会話や応援等はしない。
- ☐ かんらんせき り ょう ひつようさいしょうげん かんせん おうえんしゅうりょうご す み や か かんらんせき たいしゅつ ちゃくせき
観覧席の利用は必要最小限とし、観戦・応援終了後は速やかに観覧席から退出する。着席する
ば あ い せきじょう あ け て
場合は、2席以上空けて着席する。
- ☐ ご み す べ て ち ち か え る て あ ら い て ゆ び しょうどく ま す く ちゃくようなど かいじょうしょうじょう る ー る じゅんしゅ
ゴミは全て持ち帰ること。また、手洗い・手指消毒、マスク着用等、会場使用上のルールを遵守
する。
- ☐ たいじょう ご しゅうかん い ない しんがた ころ な う い る す かんせんしょう はつしゅう ば あ い しゅさいしゃ たい し す み や か のうこう
退場後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し速やかに濃厚
せつしよくしゃ う む とう ほうこく
接触者の有無等について報告する。

みやぎけんしょうがいしゃ す ぽ ー つ たいかいたいかいかいちょうどの
宮城県障害者スポーツ大会大会会長殿

ねん がつ にち
2021年 月 日

だんたいめいしょう
団体名称

だいひょうしゃ し め い
代表者氏名

じゅうしょ
住所

でんわばんごう
電話番号

ごきにゅう こじんじょうほう かんせん はつせい ばあいいがいしょう
※ご記入いただいた個人情報については、感染が発生した場合以外使用することはありません。

※学校・施設等団体で出場する場合は、代表者が記入して下さい。

宮城県障害者ボッチャ大会 出場申込票

① 所属				担当者					
フリガナ ② 氏 名			③性別	男・女	④ 生年月日 年齢	年 月 日 歳			
⑤ 現住所	〒				TEL				
					FAX				
⑥ 身体障害者 手帳	交付 手帳	都 道 府 第 号 県 市 (区) 第 種 級			障害名(手帳記載のとおり全文)				
	障害の原因となっている傷病名等（脳性麻痺、脳出血、二分脊椎など具体的に）								
	視覚に障害のある方は必ず記入。 矯正できないときは「不可」に○		裸眼視力	右		左		不可	
		矯正後視力	右		左				
⑦ 障害の分類	○	1 肢体							
⑧ 重複障害	1 肢体		2 視覚		3 聴覚・平衡、音声・言語・そしゃく機能		4 内部	5 知的	6 精神
	7 その他（								

出場競技		障害区分	
✓ ボッチャ (肢体不自由)	1 多肢切断・両上下肢で立位		
	2 第 6 頸髄まで残存		3 第 7 頸髄まで残存
	4 第 8 頸髄まで残存		5 多肢切断
	6 四肢麻痺で車いす常用		7 けって移動
	8 片下肢で車いす常用、または使用		9 その他走可能
	10 電動車いす用		
	※ 【別表_1 宮城県障害者スポーツ大会ボッチャ競技障害区分表】を参照し、該当する区分にチェックを入れる。		
	競技スタイル		
	立 位 障害区分 1・9 ※ 立位で競技するもの。（日常的車いすを使用している者でも、投球時に立っているかどうかで判断する。）		
	座 位 ※ 車いす座位、いす座位で投球する者。		
ランプ（投球補助具）の使用		ランプの借用を希望	

⑭ 特記事項	下記の項目の該当する番号等に○印を付け、必要事項を記入すること。		
	1 特になし		
	3 聴覚、音声・言語等に障害のある方で（ 手話通訳 ・ 要約筆記 ）を希望する。		
	4 競技中に（ 車いす ・ 椅子 ）を使用する。		
	5 障害区分 2～8 及び 10 の者で、競技アシスタントの入場を希望する。（競技アシスタント氏名 ）		
	6 コーチの入場を希望する。（ コーチ氏名 ）		

【記入上の注意事項】
1. 年齢は、令和 3 年 4 月 1 日現在で記入。
2. 出場競技を 1 つ選択し、□に✓点を記入。出場する障害区分を選択し□に✓点を記すこと。
3. 障害区分により出場できる種目に制限があるので注意する事。
4. 障害区分番号は、各競技大会実施要項で確認すること。
5. 仙台市在住の者は出場できない。 但し、学校へ通学又は施設へ入所（通所）する者は、その所在地の市町村から出場することができる。